

令和5年9月3日

ネーン訪問記

氏名: 菊池大希

所属: 名古屋大学・宇宙地球環境研究所/大学院工学研究科 塩川研究室(修士1年)

滞在期間: 令和5年8月26日～令和5年9月2日

滞在先: ネーン (カナダ)

私は2023年8月26日～2023年9月2日の日程で、カナダのネーンの観測サイトを訪問し、PWINGプロジェクトで設置された機器群の撤収作業を行った。

研究活動で用いられるデータを取得するVLFループアンテナ、リオメーター、誘導磁力計、高感度全天カメラといった設備を目の当たりにし、各構成要素に解体していく作業により設備への理解が深まり、非常に貴重な経験となった。

観測装置と小屋、小屋と駐車スペースまではそれぞれ300m程離れており道も未舗装のため、解体したパーツの運搬作業は大変な重労働だった。特にVLFアンテナの300mのケーブルは3人で支えても非常に重く、大変な回収作業だった。その中で、現地ガイドのポールさんの巧みな運搬の工夫や場を和ます明るい言葉に支えられ5日間の現地作業を無事完遂することができた。

本訪問を通して得られたフィールド観測の知見を自身の修士論文研究に生かすとともに、大変な思いをして得られているデータに感謝して研究活動を行っていきたい。



図1 VLFアンテナの回収作業



図2 小屋と全体写真